

相愛中学校・高等学校

平成 24（2012）年度 学校関係者評価

相愛中学校・高等学校
学校関係者評価委員会

平成 25 年 10 月 22 日（火）に学校関係者評価委員会を開き、学校側から提出したアンケートの集計結果及び学校評価（自己評価結果）に基づいて、相愛中学校・高等学校の教育についてご意見をいただきました。全体としては良い評価をいただきましたが、その概要並びに特にご指摘のあった点についてご報告いたします。

1. 平成 24（2012）年度 学校評価（自己評価）について

授業アンケートの結果について、重要度・満足度ともに魅力として、【学校生活】明るく楽しい学校生活を送ることができ、クラス担任との関係を含めクラスは居心地がよく、学習面で相談できる教員がいる点については、本校の魅力のなかでも高い評価が認められる。

学校行事やクラブ活動並びに Soai 教養講座、相愛学園の特徴である朝夕の礼拝や日々の糧が、学校生活においてうおいを与えていると保護者から支持されている点も高評価。

また、音楽科については、生徒・保護者は、進路や興味関心に応じた科目を選択できること、施設・設備を高い評価ができる。

平成 25 年度の夏休みにトイレのエコキャンパス事業に伴う洋式化やシャワー室設置など自由記述「相愛学園への要望」に記載された改善を望む意見を参考に改善されている。

しかし、図書館等の場所については改善検討していただき、授業の様子・進路情報ともにアンケート結果に基づき改善をすすめてほしい。

2. 学校教育への改善提言

保護者代表から

昨年度実施の学校生活アンケートにおいて、宗門校・女子校として、建学の精神に基づく教育の内容が生徒・保護者へ伝えきれていないとの評価がでているが、日々の礼拝を通して、知らず知らずのうちに身に付いていると保護者としても感じている。食事の時にも「いただきます・ごちそうさまでした」と手を合わせることができる子に育っていることに実感し、有り難く感じている。在校時には気が付かなくても卒業し社会に出てから気づくことも沢山教えていただいていると感じている。

今後の課題として、自習室に必ず教員が常駐して質問を受け付けるような制度を取り入れていただきたいことと、中高ともにさらなる学力向上をめざしていただきたい。

また、三者面談や懇談会の回数を増やし学年やクラスの情報交換ができる機会を作っていただきたい。生徒指導についても生徒は否定的な回答をしてるが、「校門のあいさつ運動や服装の指摘について、子どもは注意されても、先生からいろいろ声をかけてもらえることが励みになりますし、しっかりあいさつができてきているので、引き続き声をかけるようお願いします」との意見が出された。

以 上